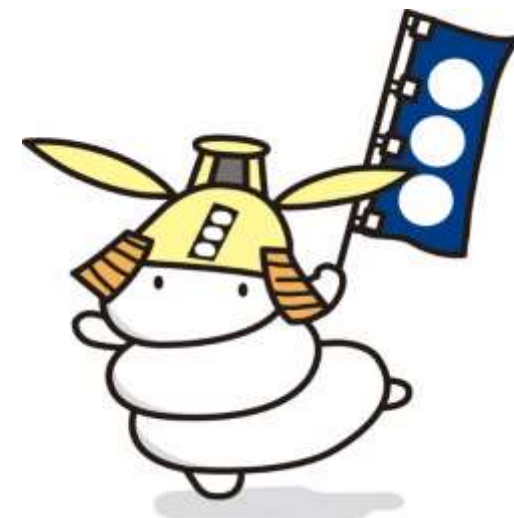




平成28年11月5日^土～6日^日

新津市誕生10周年記念

第9回高虎サミットin津を開催



平成28年10月5日

高虎サミット開催の経緯

平成10年11月 津市で開催
「第1回全国高虎城下町まちづくり・全国城下町商店街まちづくりサミット」

藤堂高虎公にゆかりのある都市が相互交流を行うとともに、各地域の活性化に繋げていくことを目的に「高虎サミット」として継続し、今までに津市・甲良町・伊賀市・今治市で計8回開催

回数	開催年	開催場所	備考
第1回	平成10年	津市	
第2回	平成12年	甲良町	
第3回	平成14年	上野市 (現 伊賀市)	
第4回	平成16年	今治市	今治城築城・開町 400年記念

回数	開催年	開催場所	備考
第5回	平成20年	津市	藤堂高虎公入府 400年記念
第6回	平成22年	甲良町	
第7回	平成23年	伊賀市	上野城築城400年
第8回	平成26年	今治市	今治市制10周年 記念

第9回高虎サミットin津の開催

平成20年以来、8年ぶりに津市で開催！

新 津市誕生10周年記念「第9回高虎サミットin津」 高虎と遠州 父子相伝 ～匠の技・茶の心～

藤堂高虎公にゆかりの
都市7市町が参加

滋賀県甲良町長、愛媛県宇和島市長、三重県名張市長、
三重県津市長のほか
愛媛県今治市、滋賀県長浜市、三重県伊賀市

現在の津のまちの基礎を築いた初代津藩主・藤堂高虎。
「城づくり」の名人であったと同時に、「人づくり」の名人
だったと言われています。今回は彼の影響を強く受けたと
言われる江戸時代初期の大名であり、藤堂高虎の義理の
息子にあたる小堀遠州(遠州流茶道流祖)との関係を軸に、
当時の茶会を通じて築かれた人脈、そして新たな高虎像に迫ります。



第9回高虎サミットin津の概要

11月5日 土

区分	開始時間	場所	内容	備考
ゆかりの地 首長会議	11:00	津商工会議所 丸之内ホール	津市長とゆかりの地首長によるサミット宣言協議	
フォトセッション	12:40	お城前公園 【津商工会議所前】	津市長とゆかりの地の首長が津城址をバックに 甲冑姿でフォトセッション	※雨天時は津商工会議所 丸之内ホール
高虎サミット PRタイム	13:00	高虎楽座ステージ 【フェニックス通り】	津市長とゆかりの地の首長と甲冑隊が高虎 楽座ステージで高虎サミットをPR	※雨天中止
開会セレモニー	13:30	津市センター パレスホール (大門7-15)	藤堂宗家御紹介、津市長あいさつ、ゆかりの地 首長あいさつ・紹介、郷土芸能のアトラクション 披露	入場無料 申し込み 電話(059-229-3102)、 FAX(059-227-8070)、 メール(229-3252@city.tsulg.jp)、 で市民交流課まで 当日参加も可能！
基調講演	15:00		テーマ: 藤堂高虎と小堀遠州の人脈と寛永文化 講 師: 深谷 信子氏(茶道文化研究者)	
パネル ディスカッション	16:10		テーマ: 藤堂高虎の人づくり パネリスト: 深谷 信子 氏 安部 龍太郎 氏(直木賞作家) コーディネーター: 藤田 達生氏(三重大学教育学部長)	
閉会セレモニー	17:10		サミット宣言採択、次回開催地への旗の引継式	

関連イベント

ゆかりの都市PRブース出展
高虎楽座会場 10:00～16:00

お茶席(津茶道協会、有料・50名程度)
ホールホワイエ 10:00～16:30

手作り甲冑展示(三重ドリームクラブ)
津市センターパレスホール内

基調講演・パネルディスカッション充実の講師陣

基調講演講師・ パネルディスカッション パネリスト



茶道文化研究者
深谷 信子氏

- 文学博士
- 茶の湯文化学会会員
- 遠州流茶道流祖小堀遠州の著名研究者で、著書「小堀遠州の茶会」では第20回茶道文化学術奨励賞を受賞

パネルディスカッション パネリスト



直木賞作家
安部 龍太郎氏

- 直木賞作家
- 「等伯」で第148回直木賞受賞、「天馬、翔ける」で中山義秀文学賞受賞
- 2008年には、藤堂高虎公を主人公とした「下天を謀る」を中日新聞で連載

パネルディスカッション コーディネーター



第9回高虎サミットin津
実行委員長
藤田 達生氏

- 三重大大学教育学部長(学術博士)
- 第9回高虎サミットin津実行委員会委員長
- 日本近世国家成立史の研究者であり、藤堂高虎公関連の他、著書多数

第9回高虎サミットin津の概要 11月6日 日

高虎公ゆかりの地めぐり・津のまち「ええところ」めぐり エクスカーションバスツアーを開催

時間

8時30分集合～16時頃予定

参加費

1人 1,000円

定員

抽選20名

※保険料、昼食代、三重県総合博物館(MieMu)観覧料を含む

内容

- 津城址、高山神社等、中心市街地付近のゆかりの場所案内
- 高田本山専修寺案内、一身田寺内町散策
- 三重県立総合博物館(MieMu)にて高虎公に関する古文書資料の限定公開を観覧

申し込み

10月21日(金)までに、はがきに「高虎公ゆかりの地ツアー」と明記し、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、郵送で第9回高虎サミットin津実行委員会事務局(〒514-8611 津市西丸之内23-1 市民交流課内)まで

11月5日 **土** 同日開催 高虎楽座・津市農林水産まつり

第50回 高虎楽座

10時～16時

フェニックス通り、津市まん中広場
(荒天時は、大門大通り商店街アーケード内)

●高虎座 ●にぎわい市

問い合わせ 商業振興労政課

電話 059-229-3114

第11回 津市農林水産まつり

9時30分～15時

丸之内商店街

問い合わせ 農林水産政策課

電話 059-229-3171



平成28年10月20日から
市本庁舎1階ロビーで
障がい者通所施設が物品販売を開始！



平成28年10月5日

物品販売を始める経緯

三重県社会就労センター協議会津支部から
市役所等の公共施設での物品販売の要望

障がい者の
経済的自立

障がい者への
理解・認識

障がい者の
社会参加

市本庁舎1階ロビーを提供し、
障がい者施設による物品販売を支援

物品販売に参加表明した事業所

物品販売事業所（5者）＋ 委託販売事業者（3者）＝ 計8事業所

物品販売事業所（5者）

事業所名	事業所形態	住所	販売物品
おてんとさん	就労継続支援B型	高茶屋小森町	弁当
クローバーハウス	就労継続支援B型	城山一丁目	パン、クッキー、缶詰パン
ピアサポートみえ	就労継続支援B型	南丸之内	サンドイッチ
ペガサス工房	生活介護	美里町家所	シフォンケーキ
サンフラワーワークス	就労継続支援B型	一志町田尻	黒にんにく、手組み紐等

委託販売事業所（3者） サンフラワーワークスへ販売を委託

事業所名	事業所形態	住所	販売物品
ひこばえの森工房	就労継続支援B型	高茶屋小森町	松玉
工房いなば	就労継続支援B型	稲葉町	さをり織
工房T&T	就労継続支援B型	大倉	紙製品

物品販売の概要

開始
日時

平成28年10月20日(木) 10時～14時

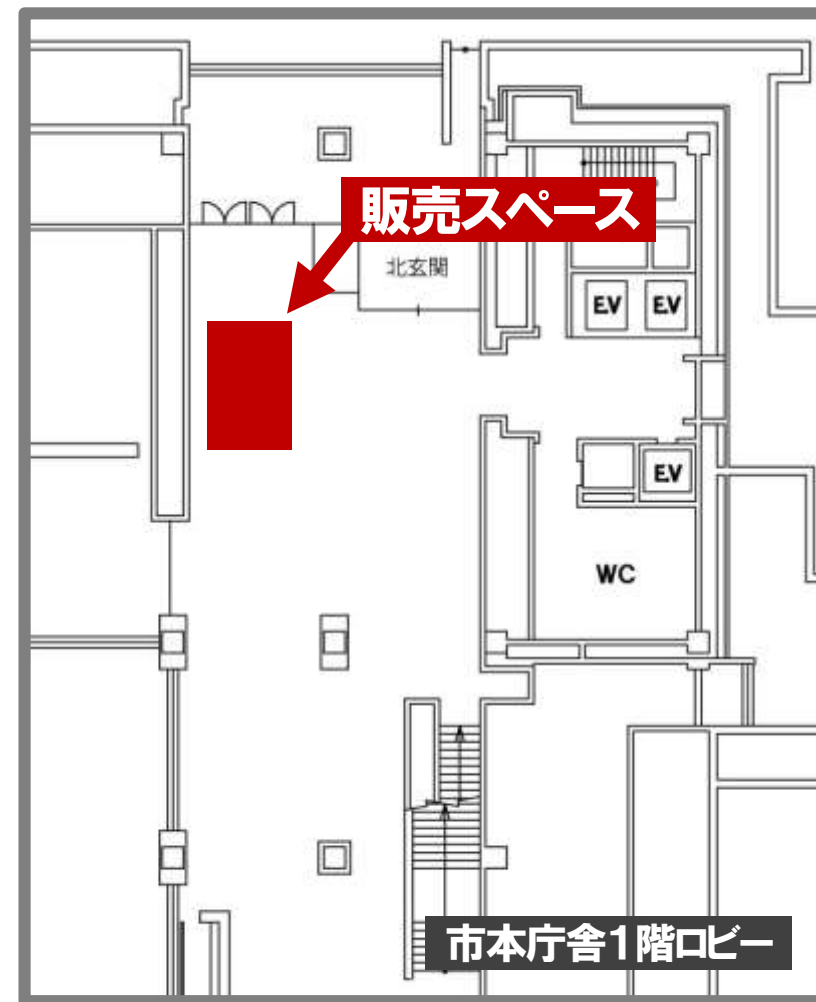
以降、毎月第2・4木曜日の同時間に開催(祝日を除く)

場所

市本庁舎1階ロビー内

10月20日(木)の販売事業所・物品

事業所名	主な販売物品
おてんとさん	お弁当(丼もの)
クローバーハウス	パン、クッキー、缶詰パン
サンフラワーワークス	黒にんにく、手組み紐等



販売予定物品

食料品



缶詰パン



シフォンケーキ



パン



お弁当(丼もの)

※その他、クッキー、黒にんにくなども販売

物販商品



松玉



手組み紐



さわり織

お問い合わせ

ぜひ利用ください！

物品販売に
参加を希望する
事業所も募集中
です！



お問い合わせ先

津市健康福祉部障がい福祉課
〒514-8611 津市西丸之内23番1号
電話番号 059-229-3157
ファクス 059-229-3334
E-Mail 229-3157@city.tsu.lg.jp

津市公共施設等総合管理計画 (案)の構成

平成28年10月5日

公共施設等総合管理計画の策定要請

公共施設を取り巻く現状と課題

高度経済成長期に多くの施設が作られ、40～50年が経過

施設の劣化

- ・老朽化と耐震化
- ・バリアフリー化
- ・環境負荷の低減

社会環境と行政需要の変化

- ・人口減少と少子高齢化
- ・ニーズの多様化
- ・財政状況の逼迫

市町村合併

旧市町村時代の
施設がそのまま存置
など

地域の実情に応じた総合的かつ計画的な公共施設の管理が必要

平成26年に総務省より全国の自治体に対し、
平成26年度～平成28年度の間には公共施設等総合管理計画
を策定するよう要請

公共施設等総合管理計画の策定指針

①公共施設等総合管理計画の目的と概要

未来に持続可能なまちづくりを目指す

全体の状況把握

現状分析と
課題整理

財政負担の軽減・平準化

- ・長期的な視点で
更新・統廃合・長寿命化
- ・有効性・効率性の観点から
管理運営の適正化

最適な配置の実現

まちづくりの観点から
配置の適正化

など

②計画の構成と対象

全ての公共施設が対象

全体の
現状と
課題

全体の
方針

種類ごとの方針

建物系

集会

教育

文化

...

インフラ系

道路

水道

下水

...

③計画の期間

長期的視点として

少なくとも

10年以上

津市公共施設等総合管理計画の策定方針

合併時に定めた整備事業である新市まちづくり計画を実行

平成18年1月1日

合併

総務省から要請

平成26年度

平成27年度

平成28年度

公共施設等
総合管理計画
策定期間

合併後の10年間は
約束したことの実現

この他、

- ・学校(耐震化)
- ・各支所庁舎(耐震化)
- ・新最終処分場など

新斎場
いつくしみの杜

道の駅
津かわげ

リサイクルセンター

合併10年の節目、今が転換点・・・なので

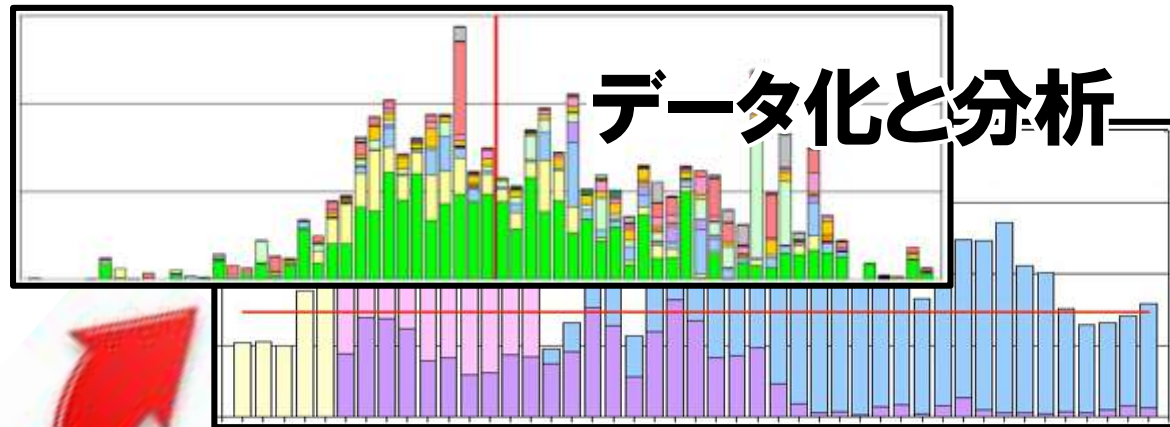
平成28年度に計画を策定することに

公共施設の最適化に向けた現状把握

公共施設データベースの整備

平成26年3月

総量の把握と費用の試算



津市ホームページ
で公開中

津市 施設カルテ

検索

施設カルテの作成と公表

平成28年5月～

施設の詳細情報を整理

- 構造、面積、建設年
- 部屋の種類
- 維持管理費用 など

施設カルテ

施設カルテ

施設名称	施設タイプ	施設タイプ	施設タイプ
津市北部市民センター	市民センター	市民センター	市民センター

施設名称	施設タイプ	施設タイプ	施設タイプ
津市北部市民センター	市民センター	市民センター	市民センター

津市の公共施設の現状①

津市の公共施設(建物)は多い

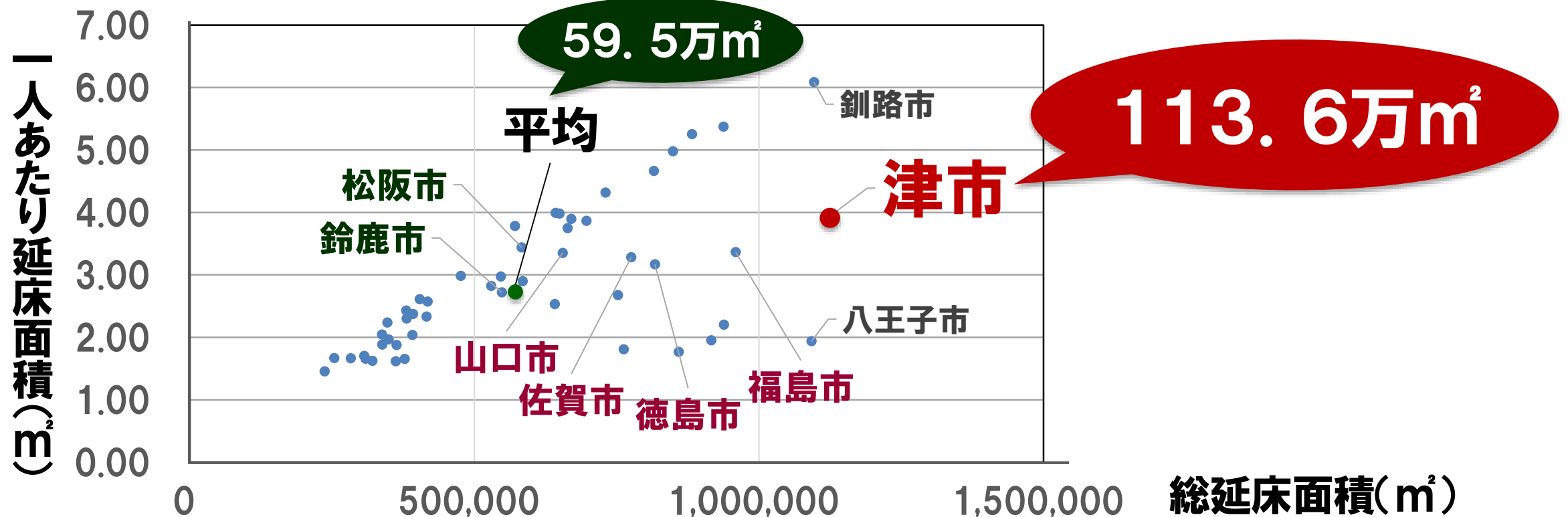
※国、県、大学、民間
の施設は除く

他の県庁所在都市
よりも多い

県内の隣接都市
よりも多い

類似50都市 ※総量比較(平成26年時点)

※総務省の分類する類似団体の分類
(人口、産業構造などから分類)に基づく



津市の公共施設の現状②

多くの施設は老朽化している

▶ 新設ではなく老朽化対策が必要

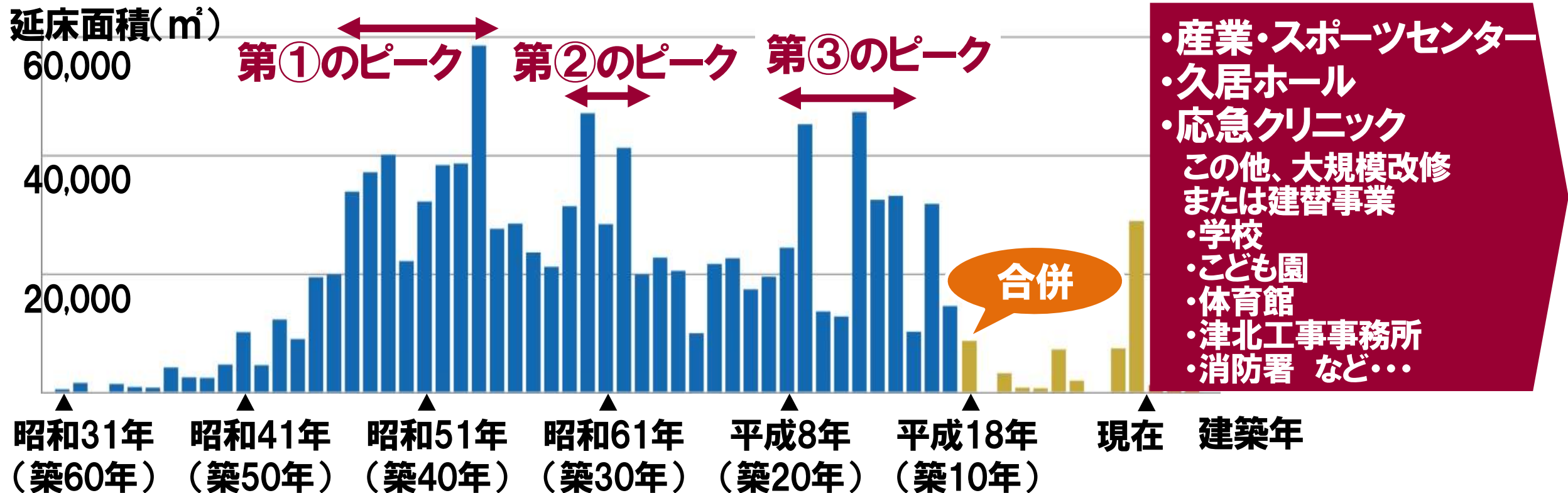
しかし、約束した
ことの実現のため



経済成長、人口増加を背景とする施設整備のピーク(①、②)に加えて、
合併前にも合併市町村特有の施設整備のピーク(③)を迎えた

大規模新規整備
事業が継続中

年度別整備実績（平成27年時点）



津市の公共施設の行く末①

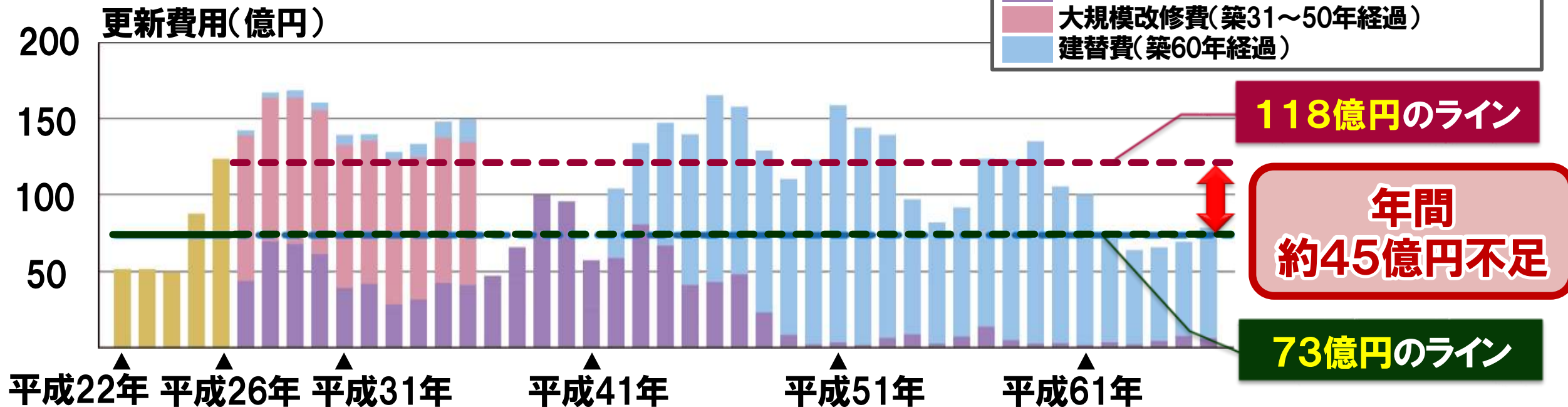
今ある施設総量のまま、建替えや大規模改修を行うには、**莫大な財源が必要**

平成22～26年度平均
年間約**73億円**（実績）

約**1.6倍**

今後40年平均
年間約**118億円**（試算）

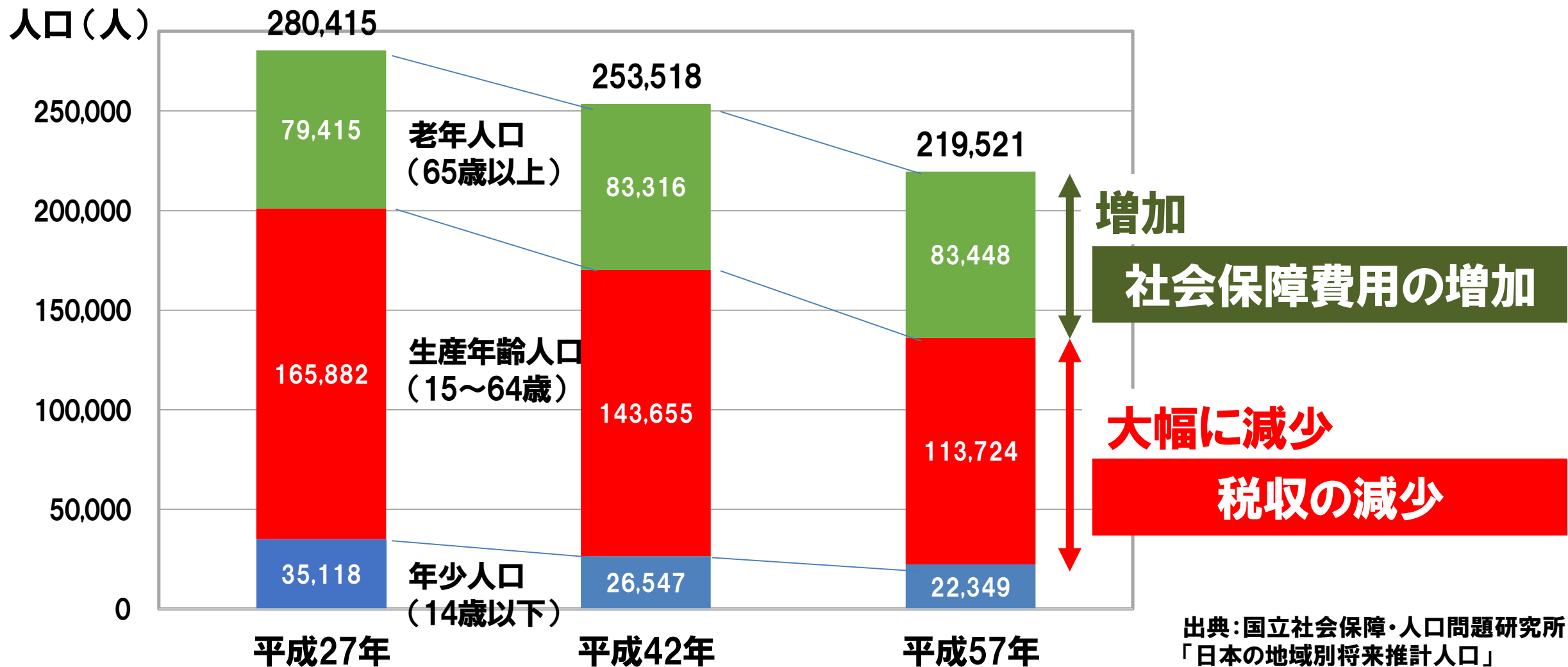
年度別更新費用（平成26年実績での試算）



津市の公共施設の行く末②

少子高齢化により施設に充てられる**財源が減少**

津市の人口構成予測（平成26年時点）



持続可能な未来に向けて

抜本的に取り組むための**体制の構築**

策定・推進会議の設置

平成28年4月1日

市長を会長とし、副市長、部長など21名で構成
全庁的に検討



- 公共施設等の現況把握及び将来の見通しに関すること
- 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に係る基本的な方針に関すること
- 施設類型ごとの管理に係る基本的な方針に関すること
- 管理計画の推進に係る体制の整備に関すること
- その他管理計画の推進に関すること

アドバイザーの委嘱

平成28年4月13日



前葉市長 川嶋氏 小松氏

川嶋幸夫氏

日本経営協会
専任コンサルタント

- 公共施設マネジメント
- 行財政改革

小松尚氏

名古屋大学
准教授

- 環境学研究科
都市環境学専攻

津市公共施設等総合管理計画(案)の構成

この5章が骨格

第1回 策定・推進会議
(4月13日開催)

第2回 策定・推進会議
(6月27日開催)

で協議・決定

はじめに

- ・公共施設等総合管理計画策定の意義
- ・計画期間
- ・計画対象施設

1章. 津市の概況、財政状況、人口
の推移

2章. 津市の公共施設等の現状と
課題

3章. 公共施設の最適化に向けての
基本的な考え方 基本方針

4章. 施設種別ごとの今後の方向性

5章. 計画推進のための取り組み

今後のスケジュール

平成28年10月7日(金)

第3回策定推進会議を開催

文案の審議を開始

平成28年11月

市議会での協議

平成28年12月

パブリックコメントを実施

平成29年 1月

第4回 策定推進会議を開催

平成29年 3月

計画の策定・公表

問い合わせ先

津市政策財務部財産管理課

電話番号 059-229-3126、ファクス 059-229-3444

E-Mail 229-3125@city.tsu.lg.jp